

令和5年12月 定例記者会見（報告）

1 日 時 令和5年12月25日（月）13時00分～14時00分

2 会 場 庁議室

3 出席者

<報道機関>山形新聞、読売新聞、NHK、YTS、YBC

<市>市長、秘書広報課長

4 記者クラブからの質問事項

- (1) 除雪に関する公約について、具体的にすぐ着手することは何ですか。
- (2) 市長となって4日目ですが、改めて今の心境をお聞かせください。
- (3) 市長にとって「今年の漢字」は何ですか。
- (4) その他

5 内 容体制

○秘書広報課長

これより令和5年度12月の定例記者会見を開催いたします。記者クラブからいただいた事前の質問に回答させていただき、質疑に入らせていただきます。よろしくお願いいたします。

○市長

近藤洋介です、どうぞよろしくお願い致します。クラブの方から事前に質問を頂戴しています。順番にお答えをしていこうと思います。まず、最初に「除雪に関する公約について具体的にすぐ着手することは何ですか？」という御質問です。私の選挙公約で丁寧な除雪、きめ細かな排雪というのを掲げております。昨日、今日と天気が落ち着いておりますが雪が一気に降りましたので、就任前の段階で建設部長や土木課長に公約に沿った改善策をぜひ検討していただきたいとお願いしているところでした。本日までに2点、今シーズンの対策が固まっております。そのことを報告したいと思います。第1に市内の主要道路、一種道路であります「幅だし」について、ロータリー除雪車を使ってきめ細かな排雪を展開していくということ。第2に住宅街については除雪作業自体は市が行いますが、雪を運ぶダンプ代については、現在は基本的には町内会の負担となっております。これを今シーズンから市の補助金を大幅に拡充するという事です。もう少し具体的に申しますと、現行のシステムは市豪雪対策本部が設置された場合、2回目以降について半額を市が補助するという制度があります。これについて1回目から、すなわち市の豪雪対策本部が設置されていない状態でも市が半額を補助するよう切り替えるということです。このことによって、米沢にお住ま

いの方はわかっていたかと思いますが、排雪というのはギリギリにならないと排雪しない。二車線の道路が一車線になるとか、2月下旬ぐらいになってようやく1回目の排雪をする。町内の予算もありますから、豪雪対策本部が出来るのを待って排雪する。これを早い段階で排雪をするようにします。これで除雪の風景が変わるのではないかと思います。早い時期、かつ排雪回数も増えるということが期待されると思っております。いずれにしても予算措置が必要でありますし、おそらく除雪費用が増えるということが予想されますが、私としては今シーズンから実施したいと思っております。

また、除雪費の距離制から時間制への変更であります。結論から申しますと、来シーズンからこの制度を導入することで調整を進めています。理由については今シーズンについては、既に秋の時点で除雪各所との契約を終えてしまっているということ。また時間制にする場合、今まで以上に位置情報や除雪状況の管理が必要になります。すでに時間制を導入している各自治体においては、GPSを除雪車に付けて運行を管理しています。これをやろうとすると今シーズンでは、私が就任したこの時期からは残念ですが間に合わないため、時間制への変更に関しては来シーズンからの導入を検討しています。ただし、現行制度でも、より丁寧な除雪を各社に実施をしてもらえよう主として建設各社、除雪各社に丁寧な除雪排雪に向けた具体的な要請をお願いしようと思っております。時期的には年明け以降になるかと思いますが、基本的な考え方は丁寧な除雪が出来る事業者は通常の土木工事においても丁寧なしっかりした仕事ができる会社だと私は思いますので、そういった考え方をきちんとお伝えをしていき、また事業者にも御要望があると思っておりますので、事業者の声もきちんとお聞きしたうえで一緒になって除雪体制、きめ細かな除雪、丁寧な除雪を実施するというものに向けた話し合いを進めていきたいと思っております。

余談ですが公約の急ぐ案件として除雪と並んで医師確保を掲げております。現状についても説明は致しませんが市立病院の医師不足、ある意味で危機的な状況だと私は認識しております。様々な政策が必要であります。山形県との連携が極めて重要と思っております。吉村知事とはすでに当選後、就任前までにすでに2回ほどお話をさせていただいておりますが、就任後に正式なご挨拶ということで明日、山形県庁に伺って吉村知事、副知事にもお会いします。さらには健康福祉部長にも面会するところであり、再度山形県との連携、御協力、御力も借りながら取り組みたいと思っております。

山形大学医学部医学部長、関係教授、福島県立医大の先生方とも面会したいと考えており、年明け以降になりますが関係医学部のトップとも私が直接お会いし、また市立病院の先生方とも一緒になってお会いし、私が先頭に立って医師会とも連携しながら取り組む予定でございます。

最優先と重ねて、この2点こういう形で動いているということをお報告申し上げます。

また、公約項目には他にも学校給食の無償化等々ございます。これも実施に向けて検討のスタートを事務方にも伝えているところではありますが、現在、来年度予算に向けた編成作業が進んでいるところであります。私の基本的な考え方はすでに伝えて

いるところですが、今日から市の幹部との話し合いを本格化していくことになると思っております。

2点目、「市長となって4日目ですが改めて今の心境を」ということですが、週末土日を挟んでおりますのでまだ当初の気持ちとそれほど変わっていないのですが、本日、置賜広域行政事務組合の理事会が開かれまして、互選で私が理事長に就任させていただきました。理事長に就任させていただきました改めて思うのが、米沢市長というのは米沢市民の暮らしと安全を守ることと同時に、置賜全体の事も考えながら取り組まなければならないという認識を今日新たにしたところであります。長井市長から「近藤氏は衆議院時代も含めて置賜3市5町を歩いてこれ大変置賜全体についても知見が深く理事長をお願いしたい」という御推薦の言葉がございました。市長としては新人でありますけれどもそういった御声も頂けて大変光栄に思っております。置賜3市5町、力を合わせて置賜の発展の為に頑張らなければならないと今日認識を新たにしたところでございます。

3点目、「市長にとっての今年の漢字は何ですか」ということですが、「信」を今年の漢字の1字とさせていただきます。理由のひとつは市長として今回選挙で信任をいただいたということの「信」、私の大変大事にしている言葉で「民信無くば立たず」という論語の言葉がございます。政治に信用がなければ国は成り立たない、地域社会は成り立たない、社会は成り立たない、という論語の言葉であります。昨今、地方政治というよりは国の政治の舞台であります。政治の信用を揺るがすような残念な事件が起きており、政治への信用が非常に揺らいでいるという状況下でもあります。これは国の政治だけの問題ではないと思っております。幸いにも市長選挙においては投票率が上がり政治離れというものに、選挙管理委員会の努力もあって一定の歯止めをかけられたのかもしれませんが、政治への信用は極めて大事でありますし、政治だけでなく行政機関の信用ということも非常に大事だと思っております。これからは特になんでもあれもこれも実現できるという世の中ではありませんし、あれかこれか選択をしなければいけない、そうなること市民の皆様からの信用信頼が非常に大事になってくると思っております。自分への戒めを込めて今年の漢字は「信」という言葉にさせていただきますと思ったところです。以上、質問は3つでありました。質問があれば対応したいと思います。

○記者

雪のことを伺います。選挙中はすぐしたいとおっしゃってましたが来シーズンということでしょうか。また、今年すぐやることとして、排雪時のダンプ代費用はどのくらいになるでしょうか。

○市長

現実的に考えて無理だということでしたのでそれは納得を致しました。過去の例だと2千万から最大4千万円程度の増かと思われまますので、そこは雪の状況次第じゃないでしょうか。排雪自体必要ないこともあり得ますし、一気に降ればそれだけ排雪をしなければならないということになります。いずれにしても市が補助するということ

です。

○記者

ロータリー除雪車を使っている除雪の費用見積もりはどのくらいになるのでしょうか。

○土木課長

今の一種路線の距離から仮に全て行えば8千万円程度の増額になりますが、そこまではいかないと思っております。

○記者

先日、雪が降り米沢市の道路除雪の状況はガタガタでした。今後見直しなどはありますか。

○市長

私が除雪の事を言っているせいか、道路が非常に綺麗に除雪されていてありがたかったという声も昨日も今日も聞いています。業者の方々はきちんとやってくださっていると思いますが、そういった声も含め丁寧な除雪のお願いを年明け以降になりますが業者の方々にお願いをする、または彼らの声を聴くという場を設けていかなければならないのかなと思います。

○記者

公約に掲げている学童、給食無償化についてどれくらいの財政規模を見込んでいるのか、それは米沢市の財政全体に対してどのくらいの金額になるのでしょうか。

○市長

今の児童数と給食費月額6,000円と計算すると出るわけですが、給食無償化費用は3億4,5千万円になるのではないかと考えております。教育委員会も大体それぐらいかと申しておりました。まだわかりませんが学童の完全無償化を実施するところから1億円を超えらると思しますので、合わせて5億円弱の金額が必要になるかと思われま。全体のどのくらいかという米沢の一般会計が400億円程度ですから1%強の金額ということになります。

予算では継続の事業や道路予算であるとか除雪であるとか様々なものがございすから、新規として考えますと、全体からは1%程度は決して小さい額ではない、大きい額だと思います。とはいうものの、これから内部の検討を急ぐ時期ですから、私も実質就任2日目ですが実施すると固い決意であることは間違いありませんので、特に事実上、学童保育については2つの項目があり、学童保育の無償化と合わせて施設借り上げ料の上限撤廃ということも掲げています。ここにこだわるわけではないですが無償化した場合、学童保育利用者が増えることが予想されます。そうすると学童施設の増強費用も必要になることから、施設借り上げ料の上限撤廃を申し上げます。それには制度を作らないといけないので、ここはいろいろと議論をしなければならいと思ひます。

一方で給食費の無償化については徴収を止めればいいだけですから比較的手続き的にはそれほど学童に比べると難しいものではない、もちろん規定の改正は必要ですが、既にやっている自治体もありますから、技術的には難しくない。感覚としては先

に来るという感覚でおりますが、これは今日から話を本格化させますので、この場で言うのは早いと思います。私の考え方は伝えながら、担当部署でも受け止めていただいていると思っていますので、これからの話だと思っています。すぐやれるところとすると、簡易型の冷房装置について中学校の方は県が半額補助としておりますが、小学校の体育館は県の補助はなく米沢市単独での設置となります。デマンドタクシーについても結論から言うと全域にこの4月というのはかなり難しい、当初からわかっている事でございますので、制度設計にはすぐに着手しなければなりません。私も20項目を超える政策、公約を掲げておりますのでいきなり全部当初からやるのは不可能でありますし、現実予算編成も事務的などころでいうとかなり進んでいるのが現状です。予算措置が必要なものに関しましては、全てが全て4月からは難しいですが確実に前には進む、進めるのが肝要、大事かと思っています。

○記者

学童、給食費無償化を早急にという事ですが、公約の中でふるさと納税での税収の確保を掲げていますが税収を確保したうえで実施するのか、実施後に税収を確保するのかどちらでしょうか。

○市長

全部実施すると大変なお金がかかります。「早急に」という中には医師の確保もありますし、いずれにしろきちんと優先順位をつけるということだと思います。除雪の話でも建設部で検討いただけただように喫緊の課題としてやるべきものは予算編成が終わっている段階でも努力をしてもらう。全部が全部するというのは大変なことです。逆に財源が全部準備できたからやるというわけではないのでケースバイケースだと思っています。ふるさと納税の事についても、まだ稼働日2日の段階で、あまりふるしきを開けることはできませんが、こちらについても具体的にいろんなことを考えなければならぬことであり大事だと思います。

○記者

学校給食共同調理場の建設整備について、先に38億円で落札者が決まりましたが、どのような展開を考えていますか。

○市長

これについてはまだ具体的な中身を詳細に存じ上げないので、軽々に申し上げることはないと思っています。地元の農産物をふんだんに使う、場合によっては有機の農産物も含めて米沢、置賜まで広めても良いので地域の食材を使うこと。また、地域の食材だけでなく、地域のバイヤー地域の業者を通じた調達を行うこと。給食に限らず私の基本方針で地元第一と、地元の業者を公共調達においては優先すべきだということも公約の中で掲げておりますが、給食はある意味典型例だと思っていますのでそれがきちんとできるのか、保証されているのか、中身においてきちんとした地産地消というものが担保されているのかということも非常に大事な事なので今の契約が私の公約に合致するのかという中身の事をきちんとしなければと思っています。

○記者

副市長、教育長の任命をどんなスケジュール感でどんな人を選びたいとお考えですか。

○市長

予定で3月議会と考えていますので、逆算すると2月の末くらいには本人の承諾を頂いたうえで3月定例会で提案させていただく予定です。まだ時間がありますので焦らず、いろんな方の意見を聞きながら、適材な人、一緒に私と仕事ができる人、職員と一緒に仕事ができる人ということが大事だと思います。

○記者

医者的人数、専門領域はありますか。

○市長

市立病院については、現状は循環器内科がありません。一説には3月に確保できるのではないかという話もありますが、ただ理想は循環器内科というのは心筋梗塞の医師で、心筋梗塞は1分1秒を争う病気で処置が早い方が良いと思っております。すべての病気はそうだと思いますが特にそれが急がれる病気だと思いますので救急病院としてはきちんと対応しなければいけないと思います。

残念ながら、米沢市立病院は休日、夜間は心筋梗塞の救急搬送を受け入れていません。本来の市立病院の姿ではないと私は思います。救急病院としてスタートした以上は、心筋梗塞にもきちんと対応できる態勢は必要ですので、特に心筋梗塞の救急は対応できる態勢を早く作ること、したがって循環器内科というのは重要かと思えます。

また、呼吸器の先生もいらっしゃらないと聞いております。新型コロナが下火になったとはいうものの、呼吸器も総合病院としては大事だと思われれます。管轄としては循環器の先生、呼吸器の先生というのは総合病院としては大事ではないかと思えます。他にもいろいろあろうかと思えます。

もう一つは医師会の方々から話があり、米沢市立病院や小児科医の医師の高齢化が進んでおり、現状が続くと5年後には米沢市内に小児科医がいなくなると想定されます。「母になるのは米沢市」と掲げているのに小児科医がゼロというのは、およそそれには遠いと思いますので医師会の方々の御要望にもあるとおりに急がなければならないと思います。

○記者

小学校のスポットクーラー設置について、置賜管内の各首長の思いがそれぞれあるようですが市長としては設置についてどんな役割、思いがありますか。

○市長

1つは、小学校は緊急時の避難所になっているということ。児童の夏場の運動環境を良くするというのももちろん大事な役割ですが、避難所にもなっているので夏場の避難所に蒸し暑い状態はいかがなものかということもあり、中学校だけではなく、身体の抵抗力という意味であれば小学生も強くないわけですからきちんと整備を急ぐべきではないかと思えます。

どんな規模で、どういうものが良いかというのは今、特段考えはありませんが、ス

ポットクーラーが良いのではないかと思います。本格的な冷暖房装置となるとコストの面もありますし、また、米沢市の場合、小学校の再編を控えていますから、スポットクーラーでの対応になるかと思います。性能については、教育委員会にて検討いただければいいと思います。

○記者

新年の挨拶がアピールポイントになるかと思うが、どんなところにどんなものを伝えたいか現時点で何かお考えですか。

○市長

就任の時にも幹部職員を含めて、現場に足を運んでくださいとお願いを致しました。私もできる限り庁内にとどまらずに外に出ることが大事だと思っており、あらゆる機会を通じて米沢をPRする必要があります。先日も八幡原企業協議会会長でありますインテグリス・ジャパン株式会社様に伺い、本社の社長とお話をさせていただきました。米沢市に進出している企業に対して我々に何ができるのかということを考えていとお話をさせてもらいました。それが企業版ふるさと納税などにもつながるかもしれないし、すべてが営業機会であり、米沢をどうPRするかを常に頭において行動したいと思います。どこにどうのというのは具体的にないですが、できるだけ多くの方と会って、官であろうが民間であろうがあらゆる方に米沢が本気だということを訴えることが大事だと思います。

○記者

去年の豪雨で止まっている米坂線に関して市長の立場でどうお考えですか。

○市長

大変大事な事だと思います。これについては知事にお会いした際、米坂線について問われ「これは米沢始発なのでまさに我が事です」と申し上げました。置賜3市5町、特に小国や飯豊、長井、川西を含めて各自治体と一緒にスクラムを組んで、要望陳情活動を積極的にやりたいと知事にお伝えしましたし、知事からも一緒にやっていきましょうとお話しいただきました。

米坂線復旧は大事だと思っています。米沢駅はもちろん、南駅、西駅を市内に抱えておりますので鉄道は大事だと思っています。中川前市長も一生懸命対応されていたと思いますが、私もそれ以上に一生懸命働きたいと思っていますし、年明けにJRにもご挨拶に行きたいと思っています。

○記者

市独自として働きかけるのか、隣接する自治体と足並みを揃えて行くのかどうお考えでしょうか。

○市長

基本は足並みを揃えてではないでしょうか。ここは団結して、置賜3市5町がスクラムを組んで前に進むということが大事であり、米沢市独自ではなく一緒になってやっていくことだと思います。ただ、JR側に関しては米沢駅の利用が多いことを知っていただく必要はあると思いますので、米沢市としてPRすることはあると思います。

が、基本は一丸となって取り組むということが大事だと思います。本市が前に出たほうが良ければ前に出ます。

今後の記者会見についてですが、できる限り皆様方にいろんな情報を提供したいと思っています。個別の取材も当然受け付けますが、今後会見の回数を増やしたいと思っています。今までの月1回から出来れば2週間に1回のペースで短時間でもいいので実施できればと思っていますので、幹事社の方と相談させていただければありがたいと思います。できるだけ多く発信をさせていただく機会、また皆さんの意見を聞く機会を設けさせてもらいますので是非、御検討いただければと思います。来年以降ということでもよろしく願いいたします。以上でございます。

○記者

市長の方から発信するものが出てくるということでしょうか。

○市長

こちらのほうから様々なものを発信したいということです。今まで通り質問事項を事前に伺うということもありがたいですが、それがなくてもこちらからお伝えをするなど工夫をしたいと思っています。

○秘書広報課長

これを持ちまして令和5年度12月の定例記者会見を終了いたします。